

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年6月29日

事業所名 児童発達支援OKプラネット 保護者数28<児童数29(1組きょうだい)> 回収数27 回答率93%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1. 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	0	1	1	・狭すぎず広すぎず、子供にも目を配りやすい広さだと感じます。	・引き続き、安全面や新型コロナウイルスの感染予防の配慮をしながら、活動スペースの確保をしていきます。
	2. 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	0	2	1	・あまり専門性のある活動だとは思えない。 ・もう少し多いといい ・必要に応じて適切な先生のクラスを案内してもらえると助かります。	・作業療法士や理学療法士、言語聴覚士による個別指導を提供しております。さらに、通常の活動で取り入れられるプログラムについての助言という形での連携も行ってあります。 ・所内研修を実施することで、職員全体の知識や技術の向上を目指しています。 ・今後も、それぞれのお子さんのニーズに合わせて、専門性を活かした支援を提供していただけるように各職員が自己研鑽をしながら、職場内でより良い支援方法を検討・共有していきます。 ・今後もお子さんにとって活動しやすい環境となるよう、構造化の工夫をしていきます。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境[*]になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	0	2	0	・荷物の準備や時間等、視覚で分かりやすい表示がされている。 ・シンプルに区分けされているので、子にも分かりやすいのではないかと思います。 ・活動の様子を窓越しに、もう少し気軽に見学出来ると嬉しい。 ・入り口の所から上がらずに観れる構造だと良かったと思う	・新型コロナウイルスの感染予防対策をしながら、保護者の方に活動を見学していただく機会を作っていただきたいと思います。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	0	0	0	・いつも清潔で整理整頓、掃除も行き届いていると感じます。	・清潔な環境を日々の維持できるように、引き続き、努力していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5. 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[*]が作成されているか	26	0	1	0	・子どもの発達課題に寄り添った内容なのかはまだ効果から分らない。 ・定期的にお互い（支援者と保護者）の認識確認が取れていると感じます。 その上で子どもが活動に参加できていると感じます。	・活動後のフィードバックなどで、お子さんの様子や活動の目的を保護者の方と共有する機会を確保してまいります。
	6. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	2	0	・契約書の内容よりも30分ほど短い時間の活動になっており充分であるとは思えない。 ・行われていると思います。	・保護者の方とのヒアリングでは、ゆつくり話せる場の設定を検討していきます。 ・家庭、地域の視点も入れて、それぞれのお子さんの状況に合わせて支援計画を作成します。 ・支援内容についても、保護者の方に分かりやすい説明ができるように心がけていきます。
	7. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	0	2	0	・プログラムは毎回固定化されているように思われる。 ・特性に対しての活動のまや家庭での声掛けなどの取り入れ方を連携するような話があると良いと思う ・活動内容は柔軟に、日によって変化して行われていると感じます。	・現在、新型コロナウイルス感染予防対策のため、未就園児の親子クラスでは、3密を避けた形でのプログラム提供を実施しております。今後は、感染予防対策をしつつ、それぞれのお子さんの様子を考慮した上で、計画に沿った支援ができるように、提供時間や活動内容の調整をしていきます。 ・保護者に納得してご利用いただけるよう、丁寧な説明を心がけていきます。
	8. 活動プログラム[*]が固定化しないよう工夫されているか	21	0	2	4	・プログラムは毎回固定化されているように思われる。 ・特性に対しての活動のまや家庭での声掛けなどの取り入れ方を連携するような話があると良いと思う ・活動内容は柔軟に、日によって変化して行われていると感じます。	・プログラムは固定化をすることで安心感を得ることができ、そこから少しずつプログラムを変化させていくことで応用を学ぶ機会になると良いと考えております。今後も、興味、関心が引き出せるプログラムを目指していきます。 ・保護者の方にも提供しているプログラムの内容やご家庭でも取り入れられる遊び・関わり方について、より多く共有していく機会を確保してまいります。
	9. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	8	1	9	・幼稚園・保育園に通っている子どもが多いので、こちらでの交流は必要ないと思えます。 ・コロナ禍のため、やむを得ないと思えます。 ・4月から幼稚園に通っています。	・保護者の方のニーズをうけて、お子さんの所属する保育園・幼稚園への訪問等により連携を図っています。
	10. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	0	1	0	・必要なきにされていると思います。	・契約時などに、より丁寧で分かりやすい説明を心がけます。
	11. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	0	2	0	・説明を受けました。	・今後もガイドラインの周知に努めていきます。
	12. 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[*]等）が行われているか	14	3	5	5	・平日のみで参加できない。 ・先日、案内を頂きましたがプログラムに参加したことはありません。	・NPO法人の活動として、「ペアレント・トレーニング」「ペアレント・プログラム」を実施しました。日程の都合などで、ご利用いただけない場合があるようなので、今後はより多くの方にご利用いただけるように機会を増やしていきたいと思えます。 ・事業所内相談を利用して、個別にペアレント・トレーニングの視点を取り入れた支援も検討してまいります。
	13. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	0	3	1	・この子にはこういう特性があるからこの活動をしているとか、いいところはここだから伸ばしていきたいという具体的な計画を説明される時間があると親も把握しやすい ・その日の活動を通じて、先生とお話をさせて頂いたり、共通理解できていると思えます。	・活動のフィードバックの時間や事業所内相談の時間を活用しながら、お子さんの特性や活動の内容について、保護者の方と共通理解ができるように努めていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	14. 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1	3	3	・月一でモニタリング調査があり、家や幼稚園での様子を伝える機会がある。 それに対してのアドバイスがある。 ・過去2回だったと思います。 ・やれる事の成長速度が速いと感じるので、もう少し頻度が高くて良いと思う ・依頼すれば、面談をすぐ設けてくれ、とても親身になって対応してくれ ます。 ・困ったことなど相談すれば、すぐに時間をとってもらえて助言等いただけるので助かっています。 ・希望者は相談できるようにしていただいています ・こういう活動をしてるので家庭ではこういう声掛けや取り組みをするというとか、アドバイスがあると活動と家庭で一貫性が出て子供もわかりやすいと思 う ・計画書の確認の際など、機会を見て配慮を頂いていると感じています。	・定期的にモニタリング面接を行い、ご要望等をお聞きしています。 ・保護者の方の困り感や心配事に対して、迅速に対応できるように、相談の機会を確保して いきます。今後も事業所内相談で育児相談を含め、対応していきます。 ・保護者の方が安心して相談できるような関係づくりを目指して、日々のコミュニケーション を大切にしています。
	15. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	10	1	11	・コロナ禍のため難しい部分もあるかと思えます。 ・これは身に覚えがありませんが、父母会の集まりなどがあるのでしょうか（コロナ禍で変更などもあるのかなど） ・迅速に対応して頂けたと思います。	・新型コロナウイルス感染防止のために実施できませんでした。 ・今後は保護者会等、保護者の方同士の連携の機会を確保できるように検討してまいります。
	16. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	1	1	3	・活動の終わりにあまり先生と話す時間がなかったりする ・配慮されていると思います。	・事業所内相談についての案内を掲示したり、モニタリングの際にご案内したりして周知を 図っています。 ・保護者の方が相談しやすいような雰囲気、体制づくりを検討していきます。 ・今後も迅速かつ丁寧に対応していきます。
	17. 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	0	4	1	・活動の終わりにあまり先生と話す時間がなかったりする ・配慮されていると思います。	・事業所内相談の利用等も含めて、保護者の方との意思疎通のための時間が確保できるように 工夫していきます。 ・指導の終了後に行っているフィードバックや当日の記録を通して状況をお伝えしています。 ・今後、入口に意見ポストを設置します。
	18. 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	2	3	9	・音のパンフレットだけで新しい情報がない ・私があまりホームページなどを見返したりしないため分かりません。	・今後は毎年、自己評価の結果を「おしらせ」やホームページで発信していきます。 ・ホームページの紹介をしています。
	19. 個人情報の取扱いに十分注意されているか	22	0	2	3	・不安を覚えたことはありません。	・契約時に個人情報の取扱いの説明と同意を得ていますが、今後も十分に注意してまいります。
	20. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	2	2	8	・避難場所は教わっていますが、避難訓練はこれから行われるのかなと思って おります。	・各種マニュアルは作成してあるので、今後は保護者の方への周知を考えていきます。
非 常 時 等 の 対 応	21. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2	1	12	・まだ避難訓練を受けた事がないので分かりません。	・年1回、各クラスでの避難訓練を実施しています。
	22. 子どもは通所を楽しみにしているか	22	1	4	0	・子どもにとって自分らしく活動できる場所として認識されており、毎回の活動を楽しみにしている。 ・新しい環境にまだ慣れないようです ・最近とくに楽しんで通えているように思えます。 ・特性についてしっかりと理解している方が接してくださっていて、安心して利用できる場所。 ・支援については満足できています。 ・子供が楽しく意欲的に通っています。 ・親としても相談出来るので心の拠り所になっています。 ・今後も続けて通いたいと思っています。	・お子さんが安心して過ごせる場を確保し、日々の活動を楽しんでいただけるよう、努力して いきます。
満足 度	23. 事業所の支援に満足しているか	23	0	2	2	・子どもにとって自分らしく活動できる場所として認識されており、毎回の活動を楽しみにしている。 ・新しい環境にまだ慣れないようです ・最近とくに楽しんで通えているように思えます。 ・特性についてしっかりと理解している方が接してくださっていて、安心して利用できる場所。 ・支援については満足できています。 ・子供が楽しく意欲的に通っています。 ・親としても相談出来るので心の拠り所になっています。 ・今後も続けて通いたいと思っています。	・今後も、お子さんに寄り添い、保護者の方と密に連携を取りながら、ご満足いただけるよう な支援を提供できるように努めてまいります。

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和4年6月29日

事業所名 児童発達支援OKプラネット 講師以外の職員6名回答

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点や課題、改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	・新型コロナウイルス感染予防対策もふまえて、1歳児と2歳児の親子グループでは、密にならないように時間を分けて実施する等の工夫をしました。 ・他のグループでも、お子さんの様子に合わせて、部屋を分けて活動するなどして、調整をしています。現在は、コロナ禍でクラスを分けるなど感染防止している。 ・パーティションなどで活動しやすくなっている。 ・お子さんの様子に応じて、補助の指導員が活動のフォローに入れるような体制もとっています。	・法令に準じた場所の確保をしておりますが、コロナ禍の現状では、密にならないように利用人数の調整が必要です。今後も新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、人数調整について検討していきます。
	2. 職員の配置数は適切であるか	6	0	0		・グループ指導では、参加するお子さんの特徴も考慮して、適正な職員配置を検討していきます。 ・緊急時に合わせて対応ができるように、担当職員以外にも協力できる体制づくりに努めています。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	・引き続きより適切な構造化を図っていく(パーティション、目隠しなど) ・足元に段差などなく、導線を広く確保しています。 ・プレイルーム内はパーティションで空間を仕切ることで構造化を工夫しています。 ・絵カードや写真を用いることで、視覚支援も行っています。 ・棚で仕切っていて、準備室とプレイルームが仕切られているのが良い。	・お子さんが活動に集中でき、分かりやすく安全に動けるような環境設定の工夫を今後も検討していきます。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	・常に換気した状態で、活動後の遊具や室内の消毒により、清潔な環境を保てるよう努めています。一方で、換気のために、寒さ対策が課題となりました。足元が冷えるので、着席での活動時は、お子さんの様子に合わせて、靴下を履いたり、絨毯を用意したりして対応しました。 ・掃除、消毒の徹底のほか、気が付いた時点で改善できています。 ・廊下や玄関は無駄なものも排除され、清潔に保たれている。	・今後も新型コロナウイルスの感染防止のための清掃、特に共有部分の消毒を徹底して行っていきます。 ・お子さんの体調に配慮した快適な環境を整えていけるように、温度管理等の工夫を検討していきます。
業務 改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	0	・必要に応じ行っている ・カンファレンスを通して、次回への目標設定や報告連絡も出ている	・日々の業務の中で気づきを職員間で共有しながら、より良い形で業務が進められるよう、改善策を検討していく。 ・年度末の業務反省と評価を次年度の計画につなげていきます。
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	現在、保護者向け評価を実施しており、いただいたご意見をふまえ、今後の業務改善に繋げていく予定です。	・保護者の方からの貴重なご意見は、業務改善に活かすために、小さなものでも連絡ノートに記録し、職員全員で情報共有していきます。
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	2	・公開は後日予定 ・ホームページ等で公表する予定です。	・今後、「おしらせ」にて掲載して配布したり、ホームページにて掲載したりしていく予定です。
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	2	・公な外部評価は行っていません ・今後、検討していきます。	・現在、第三者評価はしていませんが、今後検討する予定です。
適切 な 支 援 の 提 供	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	・事業所内研修を企画・実施したり、外部研修の情報を共有することで、研修に参加する機会が設けられています。 ・研修はあった。	・コロナ禍のため、オンライン研修が多く、手軽に受講する機会がありました。今後、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、オンラインも活用しつつ、所内での研修も企画していければと考えております。
	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	・保護者の方からのヒヤリングに基づき、言語聴覚士や作業療法士および理学療法士と連携しながら、お子さんの発達の様子をアセスメントしつつ、ニーズに合わせた支援計画の作成に努めています。	・アセスメントや保護者の方からのヒヤリング方法について、より良い形を模索していきます。
	11. 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	1	・NCプログラムを使用 ・お子さんに合わせた適切なアセスメントツールを活用できるように、日々、検討と職員の学びの機会を設けています。	・アセスメントツールを充実させていくために、検査用具を購入し、所内でも検査を実施していくことを検討しています。
	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	・支援計画作成の際に説明をして、同意を得ています。	・「家族支援」は重要なテーマなので、今後も意識して取り組んでいきたいです。
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	2	・支援計画に沿うよう心がけているが、全ての項目を見逃さないことあるので支援計画の振り返りを心がけていく ・お子さんのニーズと事業所で提供できる支援とを照らし合わせながら、計画を作成しています。 ・子どもが楽しめる様な活動の工夫をしている。	・支援計画の内容が実際の活動に反映されるように、職員間で連携しながら、より良い支援を提供できるように目指していきます。
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	1	・グループ指導では、事前の打ち合わせと事後のカンファレンスにより、職員間で話し合いながら、お子さんに合わせたプログラムの検討を行っています。個別指導においても、お子さんに関わる職員同士が情報を共有しながら、連携しています。 ・それぞれの職員の専門性を発揮しながら、プログラムの充実を目指すよう、相互学習の機会を確保していきます。	・チームで支援を行えるように、職員間の連携を深めていきます。
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	・季節に合わせた行事や造形活動を取り入れています。 ・繰り返しの活動の中で定着していくかや、慣れた活動での安心感から自己表現が広がる部分もあるため、お子さんの様子に合わせた活動ができるように検討しています。 ・少しずつ変化をつけている。	・プログラムのバリエーションを増やししながら、それぞれのお子さんの特徴や様子に合わせた支援が提供できるよう工夫していきます。
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	1	・集団活動へ移行のための個別指導であったり、集団より少人数での二人個別であったり、バリエーションを広げることで、それぞれのお子さんの状況に合わせた支援を行うための工夫をしています。	・今後も保護者の方と相談しながら、お子さんに様子にあった活動を検討し、支援計画を作成していきます。
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	1		・日々の業務の中で実施しているので、今後も継続していきます。
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気が付いた点等を共有しているか	6	0	0	・次に生かせる様に振り返っている	・振り返りで気づいた点(改善点・良かった点)は、他の活動でも活かせるように、事業所全体での情報共有を積極的に行っていきます。
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	・要点をまとめやすいよう、また、職員間で情報を共有しやすいように、記録のフォーマットも工夫しています。	・今後も日々の記録が支援に活かされるように工夫していきます。
	20. 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	1	・半年毎に担当者が保護者から聞き取りをして、支援計画の見直しをしています。	・保護者の方との面談の機会を確保しながら、お子さんの状態にあった支援計画となるように判断していきます。
	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	1	・現在は所内の職員のみで検討している。	・今後、必要時には外部からの参加も促したいと考えています。
22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		5	0	1		・今後も必要に応じて連携できる体制を整えていきます。
23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		1	2	3	・該当なし ・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の利用は今のところありません。 ・該当するお子さんの利用はありません。	・現在、医療的ケアの必要なお子さんはいません。

関係機関や保護者との連携	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の利用は今のところありません。 該当するお子さんの利用はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、医療ケアの必要なお子さんはいません。
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 要望があれば、就学支援シートの記入や園訪問、園との連携を行っている保護者と園の意向を受けて、園との連携(園訪問や電話での情報共有)をしています。 されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、お子さんと保護者の方のニーズに合った支援が提供できるように努めています。
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの希望をうけて、就学支援シートでの申し送りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、お子さんと保護者の方のニーズに合った支援が提供できるように努めています。 職員間でも支援体制を周知・共有していきます。
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 多分されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の機関との交流をしていくことで、連携体制を整えていきます。
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 年少以上のお子さんのほとんどが保育園か幼稚園に通っています。 通ってくる子は、通常の園の子どもたちなので、日常的に交流しています。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で実施できませんでしたが、NPO法人JamOKの会主催の野外活動等への参加も今後呼びかけたいことも検討していきます。
	29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 今後も積極的に参加していきます。 	
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の活動後にフィードバックの時間を設けています。 保護者と話す時間を作る様にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方と情報共有の機会を確保していけるように努めています。
	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 現在は行っていない 今後実施予定 事業所内での講座等の実施はありませんでしたが、関係機関の講座の案内等、保護者への情報提供をしました。 今後は、事業所内での支援も検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方のご希望に合わせた家族支援プログラムの実施を検討していきます。 関係機関の講座案内等、保護者の方にとって有益な情報の発信もしていきます。
	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 見学時や利用開始の契約時などに説明をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方への丁寧な説明を心がけるとともに、職員全体への周知も図っていきます。
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	1	0		<ul style="list-style-type: none"> 今後も保護者の方への丁寧な説明を心がけていきます。
保護者への説明責任等	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内相談についてのご案内を掲示したり、直接お声かけして、相談しやすい雰囲気作りに努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、保護者の方からの相談の機会を確保していきます。
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 今後保護者会開催予定 コロナ禍のため、保護者会の実施などはできませんでしたが、次年度は、感染予防対策をしつつ、保護者の方同士の交流の機会を設けられるよう検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、保護者会等の保護者の方同士の交流の機会を設けていきます。 NPO法人の活動も紹介しながら、参加を勧めます。
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内相談についてのご案内を掲示したり、直接お声かけして、相談しやすい雰囲気作りに努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 育児相談および家族相談を含めて、事業所内相談の活用を促していきます。
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> メールでの連絡が中心となっています。 「お知らせ」を発行したり、ホームページにて情報発信を検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方への情報提供の機会を確保していきます。
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 入所時にご確認いただく個人情報の取り扱いに従って対応しています。 記録等は鍵付きキャビネットにて保管しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後さらに十分注意をしていきます。
	39. 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	1		<ul style="list-style-type: none"> 状況に合わせた配慮ができるように検討していきます。
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、行事等にご招待する機会はありませんでしたが、地域の方に事業所の見学に来ていただいています。 保護者への周知はこれからである。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、地域との交流や連携を進めていきます。
	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	1		<ul style="list-style-type: none"> 今後、防犯対策、耐震対策を強化します。また、保護者の方への周知を検討していきます。
非常時等の対応	42. 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 年一回、グループ毎に避難訓練を実施していきます。 	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 見学や入所の際に確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続します。
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 今まで指示書はもらっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応方法について、事業所内で共有していきます。
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の固定された場所に張り出し、記入を促したり、情報を共有したりしている 想定ヒヤリハット記入し、改善策を検討することで、危険を未然に防いでいくように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もヒヤリハット事例を記録に残し、職員間で共有していくことで、事故防止に向けての意識を高めていきます。
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止に関する事業所内研修を実施しました。今後も研修に積極的に参加して、職員間で認識を共有する機会を設けていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続します。
	47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束を行うことはありません。 該当するお子さんの利用はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんのパニック時や自傷他害の危険がある時にどう対応するかをより詳細に検討することが今後の課題です。